

**総務省「令和4年度地域課題解決のためのスマートシティ推進事業」の  
事業実施団体に採択**

～ローカル5Gや汎用画像AIを活用した地域の課題解決に役立つ汎用DXプラットフォーム構築に着手～

この度、株式会社愛媛CATV（愛媛県松山市 代表取締役社長 宮内 隆）は、総務省「令和4年度地域課題解決のためのスマートシティ推進事業（情報通信技術利活用事業費補助金（一般会計）」（以下、本事業）の事業実施団体として、採択されました。（採択日（補助金交付決定日）：9月2日）

本事業は、地域が抱える様々な課題の解決や地域活性化・地方創生のため、データ連携基盤（都市OS）の導入（整備・改修）やデータ連携基盤に接続するデジタル技術を活用したサービスの整備等を行う事業です。

愛媛CATVでは、本事業を活用して、地域のDX推進による活性化のお役に立てるよう、民間主導により、これまで注力してきたローカル5Gをはじめとする地域無線通信基盤や汎用性の高い画像AIなど先進的なICT・IoT技術を活用した、地域の皆様の課題解決にご利用いただける汎用的なDXプラットフォームの構築に取り組んで参ります。

記

■ 補助事業の名称（応募事業の名称）

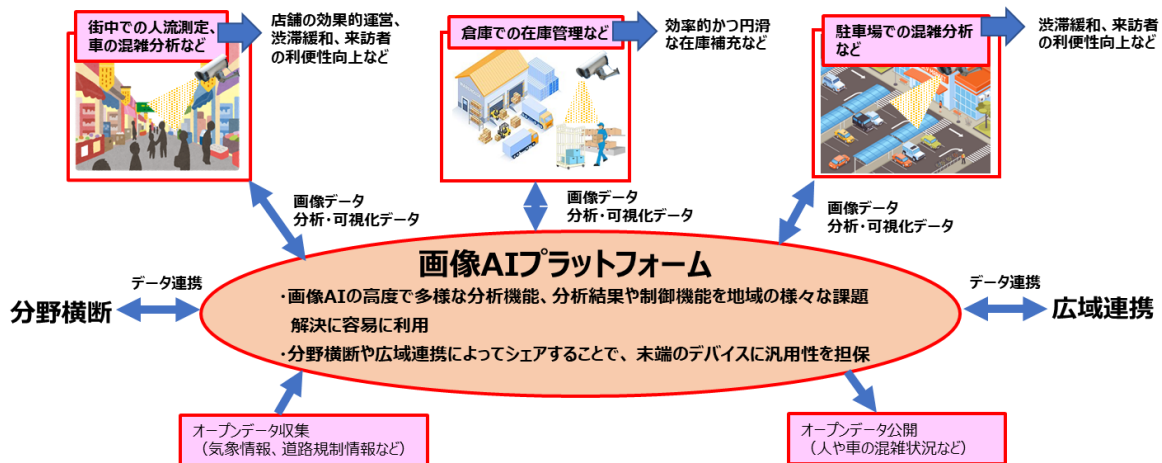
ローカル5Gと汎用画像AI技術による先進的スマートシティ地域活性化事業

■ 採択事業者

株式会社愛媛CATV（愛媛県松山市 代表取締役社長 宮内 隆）

■ 汎用DXプラットフォームのイメージ

- ・ 地域課題の各ユースケースにおいて、汎用の画像AIを用いて画像データを解析し、人間の目では対応できない物体の管理や人流の把握などを、従来の専用センサーに比べ低コストで汎用性の高い形で実現
- ・ 分析結果を都市OS（FIWARE）を介して様々な分野や地域で流通させるプラットフォームを構築



■ 総務省報道資料（7月13日採択候補発表資料）

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01ryutsu06\\_02000322.html](https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000322.html)

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社愛媛CATV 専務取締役 白石 成人 電話:089-943-5040